

「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 松川区

日 時 平成 22 年 1 月 18 日(月) 19:00 ~ 20:40

場 所 松川公民館

出席者 (市 民) 40 人

(執行部) 15 人

井上市長、平島副市長、關教育長、木村総務部長、
三笠協働のまち推進担当部長、松田市民生活部長、
松永健康福祉部長、新納建設経済部長、宮原上下水
道部長併会計管理者、山田教育部長、松島議会事務
局長

(事務局) 今泉経営企画課長、齋藤広聴広報係長、諫山協働の
まち推進課長、藤田地域コミュニティ推進係長

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- | | | |
|---|-----------------------------|---------------|
| 1 | 開会あいさつ(経営企画課長) | 19:00 ~ |
| 2 | 区自治会長あいさつ(区自治会長) | 19:01 ~ |
| 3 | 市長あいさつ(市長) | 19:02 ~ |
| 4 | 市職員自己紹介(経営企画課長) | 19:08 ~ |
| 5 | 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) | 19:12 ~ |
| 6 | 「懇談」質疑・意見交換(経営企画課長) (別紙) | 19:27 ~ |
| 7 | 閉会あいさつ(副市長) | 20:35 ~ 20:40 |

| | 発言の主旨 | 回答 |
|------|--|--|
| 意見 1 | 協働のまちづくりを進めるにあたって、地域力を高めるために一番重要なことは何か。 | <p>(市長)</p> <p>自分が幼少の頃、地域に住んでいる高齢者から「しつけ」られ、育てられました。介護についても高齢者を地域で支えていました。地域力は、幼児から高齢者まで地域の中で安心して住めるような、お互いが近所を気遣うようなことだと思います。そのことによってコミュニケーションが成立していました。そこに住む市民が原動力になると思っています。一緒になってまちづくりを行う観点に立って、今システムづくりを行ったところです。</p> |
| | <p>地方自治は団体自治と住民自治。その両方を地方自治の本質として徹底した住民自治、住民の意思を尊重する体制を採っている。協働ということは、耳障りがいいが、まず、第一に住民ということを基点において、住民の意思を十分に反映する、反映しながら公僕としての役割を果たしてもらいたい。その辺の自覚が今までの太宰府市に足らなかったと思います。住民の意思がどうということの姿勢があまりなかった。今度初めて今日行われて、非常に意義深いと考えている。むしろ住民に視点を置いた、そういう協働でなければお互い平等であるというのはおかしい。その辺の考え方を示してほしい。</p> | <p>(市長)</p> <p>おっしゃるとおりだと思います。</p> |
| | <p>地域力を高めるためには何が必要であるかという質問をした。地域力は人間である。住民である。健康が一番関心がある。そのために環境もである。行政としては、住民の健康を考えた行政を行うべきで、やたらに道を造って排</p> | <p>(市長)</p> <p>まるごと博物館(まちぐるみ歴史公園)の考え方が一緒です。いかに健康になっていただくかが大事で、それはあらゆる総合行政だと思っています。一つの問題の福祉だけでなく、市民の皆様</p> |

| | |
|---|---|
| <p>気ガスを排出させることは、健康に過ごせない。その点についてどう考えるか。</p> | <p>が外に出て健康になるように支援していく必要があると思います。健康である方もそうでない方も集まって地域力の原動力になると思っています。</p> |
| <p>住民の健康を考えた環境づくりにせいを出すと回答したと捕らえてよいか。</p> | <p>(市長) そうです。すべて総合行政で行っています。 【画面説明】 まるごと博物館構想(まちぐるみ歴史公園)</p> |
| <p>住民自治、団体自治。総じて住民の意思を聞きながら、それに沿うような行政をしなければならない。</p> | <p>(市長) 勿論そういうことが基本と考えます。</p> |
| <p>何かを決める場合に住民の意思を聞かなければならない。計画する場合も。それをいきなり隣組の回覧板で回ってくる。まず住民の意思を聞いてから計画してほしい。例えば道路の拡幅について。</p> | <p>(市長) 筑紫野・古賀線の問題がありますが、個人の意見だけではなく、筑紫野・古賀線全体の問題で、4車線化は市の方針です。市民の意見を聞いた中での20数年来の計画をしています。意見はお伺いします。</p> |

| | | |
|-------------|---|--|
| | <p>意見でなく質問である。市長は今住民の意思を尊重していないと明言した。それに基づいてコメントしてほしい。</p> | <p>(市長) まず、住民の意思の聞き方が問題です。一人の意見に対してその通りに行政を行ったのでは話しになりません。全体の意思としての方向性を判断しなければなりません。筑紫野・古賀線も筑紫野市から古賀に至る全長 33km の主要道路です。交通渋滞を無くすため、また経済活動活性化のため、地域を結ぶことが必要です。為政者と市民と議会の意見を総合しながら、筑紫野古賀線の必要性について纏められ、4市7町で期成会もでき、行っています。早く4車線化してほしいという要望が全体としてあります。中には反対の方もおられます。それを無視するのではなく、説明をしながら納得していただきます。大きな流れそのものは、変えることはできないと思っております。</p> |
| | <p>2つ質問した中の「健康を考えた環境づくり。そのための住民の意思をどうとるのか」アンケートの色々なやり方があるので、それを確かめて計画してもらいたい。</p> | <p>(市長) 解りましたとは必ずしも言えません。一人の意見は大切にしますが、全体の流れとして、大多数としてどうなのか判断する必要があります。個々の意見を聞いて、細部であれば混乱しか残らないこともあります。聞き方にしても絶えず、議会であるとか、パブリックコメントであるとかそういった聞き方を致しております。御用聞きのような聞き方をすることはありません。</p> |
| | <p>その辺の聞き方を課題として検討してください。</p> | <p>(市長) 解りました。</p> |
| <p>意見 2</p> | <p>(要望) 「いきいき元気教室」が本年度に市内</p> | <p>(市長) 筋力アップなど、介護になる前の予防</p> |

| | | |
|-------------|---|--|
| | <p>10 行政区で開催された。松川も選ばれて、6 回終わった。毎回 30 名程度出席があり、たいへん好評だった。いきいき情報センターなど町中 1 箇所ではなかなか集まらない。出前講座的に公民館で開催がとてよかった。元気な人を対象とした施策は有意義である。ぜひ平成 22 年度においても継続、地域の拡大して実施してほしい。</p> | <p>を視点において講座を開いています。これもひとつには、自治会活動の専門部会から選出していただき、市から専門スタッフを派遣し、習得してもらい、自主的に健康講座を行っていただく必要があると考えます。軌道に乗るまでは、市が後方支援していきます。</p> |
| | <p>昨年 7 月 24 日以降に大雨災害が起きたが、那珂川町には避難誘導マニュアルが策定されたと聞いた。松川地区も毎回被害が発生している。課題は、具体的な避難誘導マニュアルがないことである。組織図はあるがあまり役にたかない。災害になると普段の生活道路が利用できない。防災計画は勿論あると思うが、具体的な災害が発生しそうなときの地域に一番必要な具体的な誘導マニュアルについて、早期に雛形を示してもらいたい。</p> | <p>(市長) 平成 15 年の大きな災害を経験しました。</p> <p>【画面説明】 予算の推移 災害復旧工事を総力挙げて行いました。結果として被害が少なく終わりました。平時に災害マニュアルを数通りまとめておく必要があります。地域の皆さんが集まってもらって図上訓練も行っています。それを総合的に纏めたものが災害マニュアルになってくると思います。平成 22 年度は防災専門官を配置し、防災マニュアル構築にも取り組んで行きたいと思います。</p> <p>災害の中で重要なのは、情報の共有です。そのためにコミュニティ無線を設置しました。まだ、聞こえづらいところもありますが、一つ一つを克服しながら、完全なものに近づけていく必要があると思います。</p> |
| <p>意見 3</p> | <p>(上記発言の補足) 防犯は進んでいるが、防災についてはマニュアルがない。防災については、体験してみて、地域で特異性があるので、状況の共有性とか必ずしも統一されていない。マニュアルが出来ていないからである。大原団地はたまたま家</p> | |

| | | |
|-------------|--|---|
| | <p>屋の流出はなかったが、押し流されると人災が起きていた。防災については、地域で作らなければならないと思っているが、参考にするもの（雛形）がないので、市から雛形を準備するなど指導していただきたい。国分にも尋ねたが、その地域にあった防災を地域の人が組み立てていく方法とっていただきたい。</p> | |
| | <p>先ほど、市の財政は歳入と歳出とのギャップがあるとの説明があったが、今後も安心して暮らせるように、そのギャップを今後どのようにして埋めていくのか、市長の考えを聞きたい。</p> | <p>【画面説明】 財政状況、市債残高、歳入の状況、史跡地の買上げ、市債の説明、身の丈にあった借金の必要性などについて。</p> |
| <p>意見 4</p> | <p>地域連絡協議会。松川区は、太宰府小校区自治協議会の中に入っているが、14 行政区が加入している。区の数が多いのではないかと懸念されるのは、10 人の会長が集まって会議して、連絡協議会に話しを持っていくシステムと思うが、松川区の問題は地域の問題で 14 会長が集まってやるのではなく、総会のときに誰か市から来てもらい、実態の話しを聞いてもらう。その場で回答できないものは、持ち帰って検討して返事をしてもらうようにすると、地域の話しが吸い上げられる。14 会長が集まると、声の大きい人だけの話しが通り、小さな問題は取り上げられないのではないかと。少数意見にも目を向けなければならないものがある。市との密接な関係が生れるのでは。</p> | <p>(市長) その通りだと思います。ご存知のとおり、太宰府小校区自治協議会には、14 行政区が加入しています。基礎的なものは、従前の松川区自治会が基本で、課題などについては、みんなで考え解決を図っていただきます。貴重なご提案として、総会に参加させていただき、同時に課題について考えてはとのことでしたが、私も同じように考えます。そのために担当制も今以上に図っていききたいと思います。</p> |
| <p>意見 5</p> | <p>大原地区に建設されていた大栄の研修センターが昨年の 4 月から高齢者用賃貸住宅に変わり、70 人の入居が予定されている（現在 20 人入居済み）。当初は福祉施設だと思っていたが、実際は</p> | <p>(市長) このことについては、部長から報告を受けています。申請時の内容と違うため、担当部長も県に出向いて抗議しています。</p> |

| | | |
|-------------|---|---|
| | <p>一般アパートと同様の形態だと分かった。自治会には事業所で一括加入している。松川区には 195 名 65 歳以上の人がいる。70 名増える。昼間は受付などが数名いるが、夜間、土日祝日などはいないため防災上危険な状態である。自立者ばかりでなく、介護が必要な人もいる。県と市で、日常的な指導の切り口はないのか。区としても対応が困難である。法律的に業者の指導ができないか。心配している。</p> | <p>私は、高齢者は大事にしたいと思います。これは従来から住み慣れた地域におられる高齢者で、他の地域の方々がそのために集中されることは、老人医療の点からも太宰府市に皺寄せが来ます。また設置者が責任を持って対応する必要がありますし、許可した県に対しても市として意見を述べます。これは高齢者をおろそかにしているものではありません。市の発展に寄与した高齢者を支え、安心して一日でも長く暮らせるように支援するのは、行政として当然のことです。市の財政にもかかわることですので、再度県へ強力に働きかけます。</p> |
| <p>意見 6</p> | <p>福岡市は 65 歳以上になると公共施設の利用料金が無料になるが、太宰府市はそれがない。驚いたのが大宰府展示館は 200 円取られるが、特に 65 歳以上は、無料でもよいのではないか。また、九州国立博物館の建設は名誉なことだが、渋滞もひどい。国の施設であるが、65 歳以上は半額とかに安くなるよう市から働きかけてもらいたい。相当な収益があっているのではないか。小中学生を含めて優遇制度を検討してほしい。</p> | <p>(市長)</p> <p>展示館の使用料は、ランニングコストの半分にもなっていません。また、太宰府市を知ってもらうことは大切です。時期の問題は別にして、全体的にどのような形が一番いいか検討したいと内部的に伝えていきます。</p> <p>トレーニング施設なども使用料は半額若しくは減免ということで行っています。有効に活用していただきたいと思えます。</p> |
| | <p>万葉台における水道管の切り替えについては、平成 24 年度の県道筑紫野古賀線の 4 車線化工事に合わせて実施されると聞いている。逆に言えば 4 車線化できなかつたら、万葉台の水道は出来ないのかということになる。平成 24 年度まで万葉台の井戸が持ち堪えるか心配である。給水側の設備は 2000 万かけて行ったが、道路の下の配水管までは費用投下できない。4 車線化が遅れる</p> | <p>(市長)</p> <p>ちょっと話しは別になりますが、水道料金を下げることで、諮問しました。近く答申もいただきます。</p> <p>(上下水道部長)</p> <p>万葉台地区の切り替えについては、平成 21 年度に厚生労働省の給水機器の変更の認可を受け、平成 22 年度実施設計、平成 23 年度から 24 年度工事完了の予定です。ご心配のとおり県道との絡み</p> |

| | | |
|--|---|---|
| | <p>ことがあっても、水道の切り替えは平成 24 年度中にぜひ実施してほしい。</p> | <p>があり、また万葉台団地の給水施設の耐用年数の問題もあります。今の認可申請は、県道に埋設で計画しています。進捗状況が遅れるような場合は、工法変更も含めて検討したいと思います出来るだけご要望に沿う形で考えています。</p> <p>(市長)</p> <p>【画面説明】</p> <p>道路問題、まちづくり整備交付金事業について。</p> |
|--|---|---|